

## 取組事例

(所定外労働時間削減・年休取得促進・多様な正社員・朝型の働き方・テレワーク)



企業名：北陸電力株式会社	所在地：富山県富山市
社員数：4,892人	業種：電気業

### 取組みの目的：

ワーク・ライフ・バランスの充実ならびにダイバーシティーの推進の観点から、総実労働時間の短縮に取り組み、業務効率の向上を図ることで、当社の持続的な成長を図る。

### 取組みの概要：

#### (現在の取組)

##### ○トップメッセージ

・柔軟でメリハリのある働き方の促進を図り、従業員がいきいきとやりがい・達成感を得られる、ワーク・ライフ・バランスのとれた働きやすい職場環境を実現する。

##### ○総実労働時間の目標管理

・平成22年度以降、毎年度の総合経営計画において、総実労働時間の全社目標を明記。  
また、平成27年度からは各部署において、総実労働時間の目標（休暇取得等の目標）を設定し、取り組みを実施。

##### ○所定外労働マネジメントの徹底

・時間外労働指示表を用いて、所属長からの所定外労働の事前指示型を徹底。

##### ○長時間労働者への対応

・月間所定外労働80時間超過者には産業医との面談を義務付け。また、面談希望者については所定外時間数に関係なく面談を実施。

##### ○総実労働時間、休暇取得、フレックス活用、所定外・長時間労働状況の情報共有・周知

・毎月、役員の方定例ミーティングにおいて、前月の所属別総実労働時間、所定外労働・長時間労働者数、休暇取得、フレックス活用状況について情報共有。  
・毎月、個人別の休暇取得、フレックス活用状況、所定外労働実績及び所属別の総労働時間の状況を全社の各労務管理責任者に情報提供。

##### ○労働組合と連携した取り組み

・年2回、労働組合と総実労働時間の短縮に向けた取り組みについての意見交換を行なうワーク・ライフ・バランス推進懇談会を実施。

##### ○専任組織の設置によるダイバーシティーの推進

・専任組織並びに社内の推進連絡会を設置し、意識改革の促進、勤務制度の見直し等ダイバーシティーの推進に向けた施策を実施。

##### ○総実労働時間の短縮を促すための評価指標の設定

・平成27年度以降、部署毎の業績評価指標に「休暇取得日数」、「フレックス活用状況」を設定。

### 現状とこれまでの取組の効果：

・H22年度以降の一人当たり平均実績は以下のとおり。

	H22	H23	H24	H25
年次有給休暇取得日数（日/人）	11.6	11.8	12.1	12.3
所定外労働時間（h/月・人）	21.2	21.0	19.7	20.8